

印刷・広告業のメディアクロス水戸（水戸市、高橋裕社長）は拡張現実（AR）と呼ばれる技術を使った広告サービスを月内に始める。スマートフォン（スマホ）やタブレット（多機能携帯端末）を、あらかじめ登録された広告やポスターなどに向けると関連の映像などを画面に表示する。PR効果を高めた付加価値の高い広告サービスとして利用企業を開拓する。

商品詳細 ARで紹介



サービスに対応した広告⑤にスマホをかざすと、関連動画を画面で見られる

スマホに関連情報

▼拡張現実（AR） 現実の光景に動画やイラスト、文字などのデジタル情報を重ね合わせて表示する技術。Augmented Realityの略。スマートフォンなどのカメラをあらかじめ登録された画像などにかざすと画面上で関連した動画などの再生が始まる。博物館の展示内容を画面でより詳しく解説できるなど活用法は広い。

メディアクロス水戸

月内開始 挙式にも提案

ARは現実の光景に画像や文字など様々な補足情報を重ね合わせて表示する技術。販促に活用する企業が増えている。

今回のサービスでは東京都内のIT（情報技術）関連企業が開発したシステムを活用する。

消費者はスマホやタブレットで無料の閲覧アプリ「COCOAR（ココ）」をダウンロード。スマホなどのカメラをサービスに対応した紙の広告や商品などにかざすと、動画などが流れる。

飲食店の広告なら店の様子や特典情報を流す。

雑誌の広告主以外の利用も募る。情報発信にARを使って広告や記事のPR効果を高めたい広告会社や出版社、小売店、

商品広告の場合、紹介動画の後に商品を買える通販サイトに誘導。結婚式の招待状の新郎新婦の写真にスマホをかざすとメッセージを再生するといった使い方もできる。

メディアクロス水戸が映像関連会社と協力して動画などの製作やサーバーへの保存を手がける。サービスに対応している広告などにはマークを付けて分かるようにする。

まず、メディアクロス水戸が発行に携わっている複数の雑誌でサービスを提供する。他社と共同発行している茨城の結婚情報誌の広告などをAR対応にして印刷媒体の価値を高める。広告主に利用を提案する。

雑誌の広告主以外の利用も募る。情報発信にARを使って広告や記事のPR効果を高めたい広告会社や出版社、小売店、

観光事業者など幅広い業種の需要を見込む。

企業の利用料は、初期費用2万円程度のほか、映像製作をメディアクロス水戸に依頼する場合は約5万円からの製作費がかかる。ほかに、映像のサーバー保管料として月額2000円程度が必要だ。

ARは応用範囲が広いだけに、活用方法の提案に力を入れる考えだ。